

事務事業評価

平成 24 年度

担当グループ 文化・スポーツ振興グループ

基本事項	事務事業名	平成町多目的広場及び陸上競技場芝整備費				整理番号	0206
	根拠法令等					実施を義務付ける規定	○あり ●なし
	関連する市勢振興計画の基本計画	章 第7章 生きる力と創造力を持った人を育てる	▼	予算科目	2 款 7 項 2 目	●継続 ○新規	
事業の目的・実施状況等		節 第6節 スポーツの充実	▼	事業区分	市民サービス事業 ▼		
	事業の背景 (課題、市民の要望等)	芝の状態を良好な状態に保ち、冬場は枯れてしまう陸上競技場や平成町多目的広場の芝グラウンドに冬芝を植え付け、プロサッカーチームや大学・一般の冬季及び春季のキャンプ誘致や大会を開催できるよう工事を行う。				計画期間	始期 平成 15 年から 終期 平成 年まで
	事業の対象及び目的 (誰に、何を、どのような状態にしたいのか)	プロサッカーチームのキャンプ誘致することにより、ファンや報道等が本市を注目し、多くのメディアに取り上げられることで、本市のPRや交流人口の拡大、また、キャンプ期間中子供たちが直接プロの選手と触れ合う機会(サッカー教室等)をつくることで、青少年健全育成に寄与できることを目的とする。また、大学・社会人・小中高校生の大会を冬場でも開催でき施設の一年を通しての利用が可能となる。					
	目的達成のための手段・方法	近隣の施設と連携をとりながら、大学・社会人やプロサッカーチームのキャンプ・合宿を誘致し、また、冬場でも全国・九州規模の大会が開催できるような環境を整える。					
	成果指標 (意図する状態の達成度を図るものさし)	名称等(内容)		単位	22年度	23年度	24年度
		①利用者数 (島原市営陸上競技場・平成町多目的広場)		目標			130,000
	活動指標 (意図する状態達成のために実施する活動等)	陸上競技場 多目的広場		実績	人	74,805	122,477
H22 22,144 52,661 H23 42,189 80,288 (資:大規模大会実績)		達成率	%				
事業費等の推移	財源内訳	②		目標			
				実績			
	①直接事業費(千円)	①島原がまだ予リーグ プロリーグのシーズンオフの時期にキャンプ誘致しレベルの高い試合を観戦できる。		目標	1	1	1
		②		実績	1	1	
年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	
区分	実績値	実績値	実績値	実績値	予算	計画	
①直接事業費(千円)	9,656	9,982	8,758	8,758	10,200	10,200	
国県支出金							
地方債							
その他							
一般財源	9,656	9,982	8,758	8,758	10,200	10,200	
②従事職員給与費 b1×b2	5,794	5,801	5,806	5,861	5,894	0	
従事職員数(人) b1	0.81	0.81	0.81	0.81	0.81	0.81	
職員平均人件費 b2	7,153	7,162	7,168	7,236	7,277		
事業費合計 ① + ②	15,450	15,783	14,564	14,619	16,094	10,200	

【1次評価】

◎事務事業の評価項目と評価の視点		評価内容（判断理由、課題等）	
目的 妥当性	①住民ニーズの変化等により事業の必要性や役割は変わっていないか	A=変わっていない B=一部変わった C=変わった かまたりリーグやJFLの試合を開催すること、キャンプの宣伝及び試合観戦による交流人口の増加、サッカー教室開催での青少年健全育成にも貢献	判定 A
	②事業を民間(NPO、市民、ボランティア等)に任せることはできないか	A=可能でない B=一部は可能 C=可能である 予算と専門的な技術が必要な工事であるため、民間へ委託することは難しい。	A
	③対象等は事業目的に見合っているか、拡大や絞込み必要はないか、見直しによる費用対効果の向上が図られないか	A=概ね適切 B=改善の余地あり C=見直しが必要 使用者数も増え、十分な効果は発揮している。	A
有 効 性	④事業の実施により初期の目的や目標がどの程度達成されているか	A=達成している B=一部達成している C=あまり達成していない JFLの試合やプロのキャンプ地として十分活用されてきている。	A
	⑤成果の状況を踏まえ、手段等を工夫したり事業内容を見直すことで、成果をさらに向上させる余地はありませんか	A=十分成果が得られている B=検討の余地あり C=見直しが必要 施設を管理している指定管理者において、将来的に芝管理ができるような人材を育てることが望ましい。	B
効 率 性	⑥活動量や成果を下げずにコストを削減できないか、投入された資源量に見合う結果が得られているか、改善の余地はありませんか	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 JFLの試合やプロのキャンプ地としての要件として挙げられてくるので必要最小限の経費は必要となる。	A
	⑦事業の効率性を上げるため、他の事業との統合や事務の省力化など見直す余地はありませんか	A=見直す余地はない B=統合等、検討の余地あり C=見直しが必要 ほかに類似するような事業はなく統合、連携できるようなものがない。	A
	⑧組織間の連携や役割分担に改善の余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 島原市Jリーグキャンプ等誘致実行委員会が設立されているがさらに協力体制をとりながらやっていく。	A
公 平 性	⑨事業の対象者全員に偏りなくサービスが提供されていますか。全体コストから見て受益者の負担割合は適切か、使用料等の見直しの余地はありませんか。	A=概ね適切 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要 公の施設なので該当しない。	A
	⑩市民参加、市民協働が配慮されているか、市民参加を拡大する余地や、新たに取り組む余地がないか	A=概ね適切・現状維持 B=検討・改善の余地あり C=見直しが必要	A
判定評点平均			2.90
A=3、B=2、C=1、「-」=0として換算			

◎ 総合評価

評 価 結 果	<input type="radio"/> A 継続実施(特段の見直しは行わない)	判 断 理 由	一年を通して、芝を良好な状態に保ち、キャンプ地として毎年来ていただけるような環境整備を行う。
	<input type="radio"/> B 改善・見直しを行う		
	<input type="radio"/> B1 事業規模の拡充		
	<input type="radio"/> B2 事業規模の縮小		
	<input checked="" type="radio"/> B3 事業内容の改善・見直し		
<input type="radio"/> B4 その他の見直し			
<input type="radio"/> C 休止(隔年実施などへの変更)			
<input type="radio"/> D 廃止(終期の設定等を含む)			
今後の課題及び改善策、見直しの状況	(実施上の課題等) この事業を指定管理者で行うようにし、一年をとおして芝の管理をやっていくことにより、専門的な知識を身につけ、将来的には経費の削減につながるのではないかと考える。		
・総合評価で、「見直し・改善」を行うとした場合、見直しを行う上での今後の課題や事務事業の改善・見直しを行うことにより予想される効果も併せて記載ください。 ・本年度の事業を実施するにあたり、事業内容等の見直し(改革・改善、終期の設定など)を行っている場合は、その内容についても記載ください。			

【2次評価】

総合判定	B3見直しのうえで実施 ⇒ 事業内容の改善
備考	指定管理者との協議が必要と思われるが、専門的職員の採用による一体的な管理運営を行い、経費削減を図ることが望ましい。

【3次評価】

総合判定	
備考	

評価結果を踏まえた次年度予算への反映状況		
① <input type="checkbox"/> 事業費縮減(事業の見直し)	③ <input type="checkbox"/> 成果向上に向けた事業費増加	↓ 予算措置額の増減
② <input type="checkbox"/> 民間委託等によるコストの縮減	④ <input type="checkbox"/> 事務の効率化による現状維持(事業内容の拡充)	(千円)